

人的被害を引き起こすサル被害防止対策への支援に関する意見書

本市においては、野生サルによる人的被害が急増していることから、被害防止に係る支援の強化を求めます。

本市では、今年に入り野生サルによる噛みつき被害が11件14人発生し、被害者の中には高齢者や幼児も含まれ、深刻な状況にあります。

野生サルは、人間の生活圏に侵入することで、農作物の被害はもとより人家に入り込み食品を食べ漁る等の被害も発生しています。また、人間を恐れることなく攻撃的な行動に出ることもあります。

また、サルの生息地は、広範囲に渡り、複数の自治体に及ぶことから、各自治体での対策には限界があり、県主導による広範な対策が求められます。

さらに、捕獲従事者は、地域の安全・安心な暮らしを守る上で欠くことのできない存在であり、法に基づき適正に行われた捕獲に関し批難を受けないよう、有害鳥獣の捕獲に関する必要性等、住民への正しい知識の啓発を図ると共に、捕獲従事者の人材育成と捕獲に係る財源の確保を求めます。

以上のようなことから、下記事項について早急に適切な措置を講じられるよう求めるものです。

記

1. サルの市街地への出没抑制のための措置を講じること
2. サルの人的被害防止に向けた市街地での捕獲体制の構築を図ること
3. サルの被害に関する市民への啓発を行うこと
4. 福岡県主導によるサル被害防止対策及び必要な財源の確保を図ること

地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

那珂川市議会議長 高原 隆則

福岡県知事 服部誠太郎 様